

登録コード	BSB82568	開講年度	2026				
授業題目	生命工学演習 (22BS以降)				担当教員	米倉 真一	
英文授業名	Seminar in Biotechnology				副担当		
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2026BSカリ, 2025BSカリ, 2024BSカリ, 2023BSカリ						
	【専攻】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力				1. 研究に必要な情報を収集し、分析することができる 2. 収集分析した情報を分かり易くプレゼンテーションすることができる 3. 英語による簡単な研究説明・質疑応答ができる。		
(2)授業の概要	動物生理学研究室の構成員全員参加によるセミナー形式で行う。修士論文に関連した論文(英語)や動物生理学に関連する最近のトピックスを紹介することや、質疑応答を通じて専門知識を深める。毎週、木曜日の午後に行う。発表者は、発表する論文を資料やパワーポイントにまとめて参加者に提示する。論文から必要な図表を選び、より分かりやすい資料等を作成することを心がけてほしい。また、場合によっては関連学会における発表も本演習の重要な要素として取り入れる。						
(3)授業計画	1-3回．修論テーマの策定または確認 4-6回．テーマに関連した論文の読解 7-10回．論文の紹介と質疑応答 11回．関連学会での発表 12-15回．特別研究の進捗状況の確認						
(4)成績評価の方法	発表内容を判断して総合的に判断する。具体的には、発表に用いる資料のまとめ方(レイアウトの仕方・わかりやすさ・必要な図表を選んでいるかなど)、発表の仕方や発表に関して行われる質疑応答も重要な成績評価の材料となる。						
(5)成績評価の基準	・自身が発表する論文を理解し、その発表が出来ていれば「合格水準にある」 ・質疑が適切に出来ていれば「やや上にある」 ・自身の発表する論文に関連する論文も読むことで、発表を充実していれば「かなり上にある」 ・自身の発表が「かなり上にあり」、他者の発表に対しても適切な質疑が出来れば「卓越している」						
(6)事前事後学習の内容	自身の発表の約1か月前より、発表する論文を選択し読むことを心掛ける。 発表後においては、理解の足りなかった点、質疑で回答出来なかった点を学習する。						
(7)履修上の注意	本講義は、動物生理学の基礎知識を必要とする。積極的に関連する論文や成書を精読するように心がけてください。専門用語は医学英和辞典や成書を当たって、正しい日本語として覚えてください。必ず、動物生理学特別演習Iと合わせて受講してください。						
(8)質問,相談への対応	動物生理学研究室(C棟310号) Tel:0265-77-1443 e-mail:yonekura@shinshu-u.ac.jp						
(9)その他							
【教科書】	教科書は使用しません。必要な論文は、指導教員を通じて配布します。毎回、論文の内容をまとめた資料が、発表者から配布されます。						
【参考書】	参考となる基礎的内容の成書をその都度紹介します。						